

# 平成30年 年頭のごあいさつ



## チーム西尾市で夢と希望が 持てるまちづくり

西尾市長 中村 健

**明** けましておめでとうござ  
います。皆さまにおかれ  
ましては、輝かしい新春  
をお迎えのこととお喜び申し上  
げます。

昨年7月の市長就任から6か月、先人が築かれた本市の舵を取る、その重責を日々感じながら市政運営にまい進しています。植物は、根がしっかりと張らなければ、きれいな果実も実りません。市政運営も同様で、少しでも早くきれいな花を咲かせたくはありますが、まずはしっかりと根を張れるよう、市民参加や組織の活性化など、目立たなくても重要である点には、特に力を入れて取り組んでいきたいと考えています。

本年4月に合併8年目を迎える本市は、まちづくりの方向性や普通交付税の縮減、人口減少問題など、多くの課題を抱えています。このような状況だからこそ、「市民が主役のまちづくり」が必要であると考えています。市民の皆さまが事業提案や率直な意見を述べられるような仕組みを整えるとともに、核家族化や地域のつながりの希薄化などにより低下しつつある地域コミュニティの活性化にも積

極的に取り組んでまいります。また、人口減少への危機感を背景とした地方創生の観点から、各種施策を展開したいと考えています。具体的には、子育て・教育環境の充実や公共交通体系の再編などによる定住促進、企業誘致や起業支援などによる雇用の安定化と産業振興、歴史や文化・自然といった豊富な観光資源を生かした観光振興など、本市独自の魅力を磨き上げる取り組みを積極的に進めてまいります。

さらに、喫緊の課題である巨大地震に備える防災・減災対策を引き続き重点施策と位置付けるとともに、公共施設再配置第1次プロジェクトのPFI事業では、皆さまからの貴重なご意見やご要望を参考に、本年3月までに見直しの方向性を示したいと考えています。市民と行政、市民同士が強い信頼関係で結ばれ、一体となった「チーム西尾市」でこの難局を乗り越え、未来に夢と希望が持てる本市のまちづくりを進めてまいりますので、ご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。新年のごあいさつとさせていただきます。



## きぜん 毅然とした態度で諸課題に挑戦

西尾市議会議員 鈴木武広

明

けましておめでとうござ  
います。市民の皆さまに  
おかれましては、健やか  
に新年をお迎えのことと存じます。  
また、旧年中は市議会に対する温  
かいご理解とご協力を賜り、厚く  
お礼申し上げます。

昨年6月に、市長・市議会議員  
選挙が行われ、新しい体制で市政  
が始まりました。合併以降進めて  
まいりましたPFI手法による公  
共施設再配置第1次プロジェクト  
は見直し・凍結され、本年3月中  
に結論を出すことになっておりま  
す。この結論次第で、本市の将来  
が決まるといっても過言ではあり  
ません。市議会としては、十分に  
議論を尽くし、本市にとって一番  
良い方向に進めてまいりたいと思  
います。

他にも、南海トラフ大地震に備  
えた防災・減災対策、公共交通機  
関の存続、少子高齢化社会への対  
応など、本市では推進すべき重要  
な課題があります。一方、長年の  
課題であった西尾駅西広場整備事  
業で、コンベンションホールが本  
年10月に、ビジネスホテルが12月  
に完成する予定です。平成34年4

月に開校が予定される県立特別支  
援学校の誘致も具体的な実現に向  
かう喜ばしい年となります。また、  
今年度から合併特例の地方交付税  
が段階的に減額されるなど、財政  
事情が厳しさを増す中、国や県か  
らの補助金確保へ向けて市議会も  
積極的に協力してまいります。

昨年度に施行した「西尾市議会  
基本条例」の基本理念は、「議会は、  
議会及び市長の二元代表制の下、  
市民の代表として、自覚と誇りを  
持つて、その負託と信頼に応える  
ものとする」としています。この  
理念の下、市議会議員一同、本市  
が直面する喫緊の難題解決に向け、  
毅然とした態度で諸課題に果敢に  
挑戦してまいります。昨年にも増  
して、変わらぬご支援とご協力を  
心からお願ひ申し上げます。

年頭にあたり、皆さまのご健勝  
とご多幸を心からお祈り申し上げ  
まして、新年のごあいさつといた  
します。

